

半田病院と常滑市民病院の経営統合に関する説明会

会議録概要

◆常滑会場

- (日 時) 令和3年3月27日(土) 午後2時～午後3時5分
- (参加者) 事前申込制 31名(新型コロナ感染対策のため、座席を指定)
- (場 所) 常滑市役所 2階大会議室
- (出席者)
- (半田市) 榑原純夫市長、大山仁志建設部長、榑原健史土木課長
- (半田病院) 渡邊和彦副院長、竹内甲司事務局長、坂元照幸管理課長、
青木賢治管理課主幹
- (常滑市) 伊藤辰矢市長、澤田忠明総務部長
- (常滑市民病院) 深田伸二院長、小羽正昭事務局長、山本秀明副管理者
成田晃久管理課長、堂本大輔管理課長補佐

◆説明内容(両会場共通)(別紙パワーポイント資料のとおり)

- ・ 経営統合について
- ・ 診療統合について
- ・ 新半田病院の概要について

◆質疑応答 要旨

【経営統合について】

質問	回答
<p>統合により診療科が新半田病院に集約されることに不安がある。統合後の診療科はどのようになるか。</p>	<p>診療科については、現在検討中のため、何を残し、何を集約化するのは未定。確保できる医師の数も見ながら、今後検討を進めていく。</p>
<p>現在、常滑市民病院には産科がないが、統合後に設置される予定はないか。</p>	<p>現在も常滑市民病院には婦人科のみ。産科については医師の確保の問題もあり、新半田病院との診療分担の中でカバーしていく方針。</p>
<p>コロナ前の試算で統合時8.1億円の財源不足見通しを一般会計で補填するとした説明を聞いたが、コロナ後の財源不足について確認できているか。また、早期退職による退職金を見込んでいるか。</p>	<p>コロナ前は非常に厳しい試算をしていた。コロナ後における常滑市民病院の運営については、コロナ対応に伴う補助金等によりむしろ良くなっていく状況にあり、試算は毎年見直していききたい。また、勧奨退職は行う予定はないが、退職引当金を見込んで試算している。</p>
<p>常滑市民病院から整形外科の医師がいなくなったため、診療所に行けと言われた。今後もそうしたことが起こるのか。</p>	<p>新半田病院との経営統合により医師を確保し、両病院の機能分担で十分な医療が提供できるようにしていく。</p>
<p>常滑市民病院でボランティアとして活動している。統合した後も、ボランティアとしての活動を受け止めてもらえるか。</p>	<p>現在はコロナで活動を休止しているが、コロナがなくなればボランティアの活動を再開していただきたいと考えている。 今の半田病院にもボランティアの方がいらっしゃるの、統合後は半田・常滑の両病院を両市民に支えていただきたいと考えている。</p>
<p>診療科が新半田病院に統合された場合、近くなったとはいえ、常滑市民病院からさらに3km先。バスなどは走るようになるのか。</p>	<p>半田市、常滑市とも、バスなどで、新半田病院に来られるよう検討していく。</p>
<p>統合により物品納入等におけるスケールメリットはあると思うし、経営効率化の観点から進めていただきたいと考えているが、救急医療について、統合後はどのような体制となるのか。</p>	<p>救急救命センターの機能については、両病院の距離が約3kmと近接し、新半田病院の救急医療の機能がさらに充実できることから、すべて新半田病院に集約する考え。常滑市民病院は回復期リハビリ病院になるのではなく、急性期医療については両病院で分担する予定。</p>

【新半田病院について】

質問	回答
<p>新半田病院は来客用駐車場として、300台程度の平面駐車場を整備することだが、広すぎるとどこに駐車したか忘れてしまう。また、屋根がないと雨天時に不便だと思う。</p> <p>これらの改善はどのように考えているか。</p>	<p>来客用駐車場は、分かりやすい駐車場にする工夫を考える。</p> <p>雨天時の利便性については、中央の主玄関前に大きな屋根を設置するので、患者さんの乗り降りはそこでしていただきたい。地下玄関前の屋根の設置は検討していく。</p>